

件名	令和4年度第5回小千谷市地域公共交通協議会	第 回
		前回 令和4年12月28日
日時	令和5年2月21日(火) 10:30~11:45	
場所	小千谷市役所 403会議室	
出席者	委員17名中14名 別紙委員名簿のとおり	
	欠席：瀧澤(秀)委員、玉巻委員、小嶋委員	
	事務局(観光交流課) 大平事務局長、大平事務局長補佐、安達係長、加藤	
	調査業務委託事業者(株ケー・シー・エス) 長浜	
配布資料	別紙のとおり	
会議等の結果	山口会長進行	
	○議事1：協議事項 路線バス廃止に伴う代替交通(案)について	
	事務局：【資料1】【資料2】説明。	
	副会長：資料No.1-3を見ると乗車のみと降車のみを分けるとあるがその理由は。例えば塩谷から岩間木に行く人を乗せてもいいのでは。	
	事務局：運行経費を負担する側からして、地域内の交通のためにタクシーを小千谷から走らせて塩谷-岩間木間だけご利用いただいても、運行区間としては全額負担するというのもあるのでひとまずこういった形で始める。ただ、地域間の移動ニーズがたくさんあるというのであればそういったことも検討する必要がある。	
	副会長：浦柄三叉路はここにバス停があるのか。	
	事務局：現在、越後交通の十日町-小千谷-長岡線という路線があり、今までの塩谷線を走っていたバス停と同じ名前だが違う位置にバス停があった。それを今度、国道のバス停の方に接続し直すことで乗り換えを容易にしたということである。	
	委員：十二平の方からは要望はなかったか。	
	事務局：元々こちらの路線バスが塩谷発着であったので特にそういった要望の方は聞いていません。	
	委員：もう1点。資料1で見ると、コロナが出てきて大きく下がっているような感じがするが、令和2年で7000人台、令和3年で6000人台。コロナが収束してウィズコロナになってきているが、昔の利用者が全部戻ってきた場合、乗合タクシーで運営できるのか。	
	事務局：越後交通から乗車人数の調査を4月と11月に実施。これまでに塩谷をスタートして、浦柄地区までの間に最大で乗った日でも8人というのが上限であった為、9人乗りで対応できると考える。また9人をもし超えた場合は、タクシー会社から、もう1台タクシーを配車していただくことになっている。少し時間を待っていただくが、もし定員を超えた場合に乗れないということにはならないようにしたい。	
	会長：続いて事業者の方に、塩谷線が廃止に至った経緯など、何か補足することがあればお願いしたい。	
	委員：小千谷市の説明のとおり、輸送人員の減少が著しく、経費負担がかなりのものになり、乗車人数がタクシーで可能となったのでこのようなお願いとなった。路線バス廃止となったが、小千谷市、タクシー事業所のおかげで、地域交通が守られるということで大変感謝している。形は変わるがご乗車の方お願いできればと思う。	
(裏面につづく)		

- 委員：緻密な計画を立てていただいたので、その件に対しては十分いけると思う。池の平線、北山線の2路線を運行しているので問題ないと思う。ただ、先日事務局と協議して、冬期の雪の多い箇所は危ないので運行しないことで了承してもらった。（朝日、首沢）
- 委員：資料2、クローバーバスの関係だが、せっかく長岡市が岩間木など今まで接続していたところを今度は小千谷駅まで延伸するとあるが、もったいないので行き帰り長岡市にお願いして、利用できるような方法を模索してみてはどうか。
- 事務局：長岡市の担当者とはそのような話も少しやり取りしたが、スタート時点から一緒にというのは難しかったので、しばらく小千谷市と長岡市と並走していくことになる。もったいないという思いはあるので、それぞれの運行が落ち着いた頃にまた協議を進め、もし利便性が上がるのであれば当然お互いの費用負担が出てくるが検討していきたいと考える。
- 副会長：クローバーバスは長岡市のデマンドか。
- 事務局：デマンドで行うということです。
- 副会長：クローバーバスから乗り換えしているお客様はどれくらいか。
- 事務局：長岡市から令和3年度は岩間木線のご利用者が年間通じ、600人程度と伺っている。

異議なし：承認

○議事2：報告事項 小千谷市地域公共交通計画作成に係るアンケート調査結果について

委託事業者：【資料3】説明。

異議なし

小千谷駅周辺のバリアフリー化に向けた取組の検討開始について

- 事務局：【資料4】説明。
- 会長：JR東日本さん、補足説明お願いします。
- 委員：新潟支社管内でいうと、多くの駅がバリアフリーの対象ということで各自治体の皆様と協力してこれまで進めてきた。最初に法律が改正され設定された2006年頃から乗降が5000人以上ということで進めていたが、今回その法律がまた改正され、令和2年に2000人以上ということでこれまで順次バリアフリー化を進めてきた。今回、小千谷駅も対象になるということで、我々としても単独でバリアフリー化を図るのは非常に厳しい。記載の通り、国・自治体・我々が3分の1ずつ負担で整理することが多いという状況である。ようやくスタートラインに立とうというところで我々としても必要な協力を進めたい。
- 副会長：6ページ、マスタープラン図で先ほどの説明では駅の回りだけということであったが、この辺（西側）は行わないのか？
- 事務局：小千谷市の都市計画の中では、市役所のある西小千谷地区というのが、それと旭橋を挟んだ東小千谷地区と二つ地区がある。その二つを一括化することも検討してみたが、地区設定が広すぎるということで、まず小千谷駅を第1候補ということで今は考えていて、東小千谷地区ということで設定してはどうかと考えている。今後、西小千谷地区へ広げていくことも当然考えていないわけではないが、まずは東小千谷地区から始めたいと考えている。
- 副会長：駅の周辺だけでなく、西小千谷地区も歩いている方が多いと思うのでその辺も含めて検討されては。あと、小千谷駅の乗降客数はどのくらいか。
- 事務局：発表されている乗車人員が1000人ちょっとで記載されているので、大方2000人程度ということである。
- 委員：東地区の代表として大変ありがたいことだと思う。駅周辺の整備という中では国道関係者も絡むか。
- 事務局：関係者の中には入っていただくことになっている。
- 委員：議論を楽しみにしている。

(裏面につづく)

会 長：北陸地方整備局が本日欠席なので、長岡地域振興局から意見を伺いたい。
委 員：先ほど JR 周辺ということで国道も含まれるかという話があったが、管理するの
が我々になるので、具体的に動き始めたら予定したいと思う。
会 長：北陸信越運輸局からも意見を伺いたい。
委 員：メンバー表にある通り、専門の部署運輸局が本局にある。そちらのバリアフリ
ー推進課というところから課長が入ることになる。既に相談をしているようで、
私はこの会には参加しないことにはなると思う。ただ、新潟県内の交通関係の
窓口となっているので、バリアフリー関係についてもこの会議のことを担当部
署に繋ぎながら、対応していきたいと考えている。

異議なし

(閉 会)

以上